


東京工芸大学「学生による工・芸共同研究」成果報告書

共同研究 責任者	所属: 芸術 インタラクティブメディア 学部 学科	学籍番号: 1027025	氏名: 菅野 夏生 
申請活動名	POM		

指導(支援)教員名	所属・職位	役割分担
浅野 耕平	芸術学部インタラクティブメディア学科 助教	指導教員
参加した学生の氏名・所属・役割分担		
所属: インタラクティブメディア学科	氏名: 石幾部 好平	役割: 運営・予算管理
所属: インタラクティブメディア学科	氏名: 菅野 夏生	役割: リーダー
所属: インタラクティブメディア学科	氏名: 竹内 彩華	役割: 広報
所属: インタラクティブメディア学科	氏名: 田中 琴実	役割: 企画運営
所属: インタラクティブメディア学科	氏名: 野口 春奈	役割: 企画運営
所属: インタラクティブメディア学科	氏名: 森 聡美	役割: 企画運営
所属:	氏名:	役割:
所属:	氏名:	役割:
所属:	氏名:	役割:
合 計		6 名

活動の内容(できるだけ詳しく)

私達POMは「インタラクティブアートを広める」という名目の元、この半年間活動してきました。

まずは体験型のアートを「知ってもらう」ためにアナログな方法でワークショップを行いました。横浜市スマートイルミネーション2012に「ひかりを探す」というタイトルで参加し、その名の通り「ひかりを探す」ワークショップを行いました。当初の企画とは少し違ったアプローチとなりましたが、その名の通り「ひかりを探す」ものとなり、自分で好きなキラキラの小瓶を作り、それをフィルターとして周りのイルミネーション作品を見て新しいひかりの見え方を提案し、多くの皆さんが参加してくれました。2日間参加した両日とも参加者が長蛇の列を作り、300人もの人が夜の横浜にひかりを探しに行きました。

POMの活動目標の一つは、メンバーの地元で活動を行うということ。横浜(森聡美出身地)に続き、福島県福島市(菅野夏生出身地)で展覧会を開催しました。メンバーが日々作った作品に加え、指導教員にもお手伝い頂き、14作品を「動くアート展」で展示しました。

活動のスケジュール

8月より動くアート展へ向けの作品の企画制作を開始
10日より“ひかりを探す”準備(材料、広報、会場レイアウト等)
11月3、4日 横浜スマートイルミネーション“ひかりを探す”ワークショップを実施
11月30日、12月1日動くアート展への作品をメインに中野キャンパスにて展示会を開催
2月9、10日 福島県福島市AXCで“動くアート展”を開催(“ひかりを探す”ワークショップをパッケージ化)
3月9日 函エの未来展で“ひかりを探す”ワークショップを実施

活動により得られた成果

・動くアート展の実現
福島で行ったインタラクティブアートの展示会は多くの方がおいでくださり、成功を収めることができました。お客様も大変興味を持ってくださり、楽しんで頂くことができました。現地の新聞やラジオ等でも紹介され、インタラクティブアートの認知度の向上に貢献できたと思います。そしてなにより、この展示会で多くの笑顔に出会うことができました。

・皆が参加するアートの実現
横浜、東京、福島と3都市でワークショップを行うことができ、皆が参加してアートを作ることができました。合計して300人を超える参加者が自分のひかりを探し、アートを体感していきました。

今後の活動予定

これからも皆でインタラクティブアートを体験してもらい展示会を企画していきたいと思っています。

活動経費 ※金額を記入

1. 物品費	2,155	(円)
機器備品支出	0	(円)
用品費・消耗品費	2,155	(円)
図書・図書資料費	0	(円)
その他物品費	0	(円)
2. 活動費	319,770	(円)
旅費	132,200	(円)
通信運搬費	93,350	(円)
印刷製本費	0	(円)
業務委託費	0	(円)
諸会費		
その他活動費(借借費)	92,220	(円)
経費合計	319,925	(円)